

## **第3部 被害想定手法等**



## IV 被害想定手法

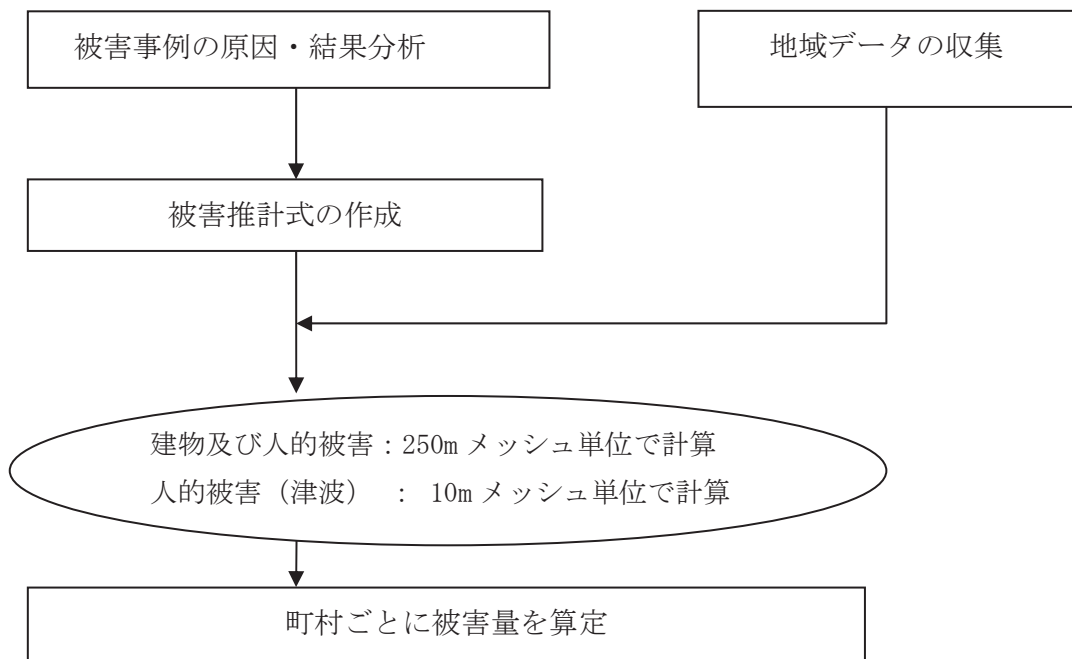
### IV-1 想定手法の概要

#### 1 想定手法の流れ

過去の地震被害のデータに基づき、被害項目ごとに被害の原因と結果の関係を分析し、被害推計式を作成する。

次に、地域の特性を詳細に分析するために、建物被害については東京都島しょ部を 250mメッシュに区分し、各項目につきその地域データを被害推計式に投入して、メッシュごとの被害量を算出する。人的被害については、町村別に算出する。

なお、想定手法については、原則として内閣府「南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ 第一次報告」（平成 24 年 8 月）及び東京都「首都直下地震等による東京の被害想定報告書」（平成 24 年 4 月）で示したものを採用している。

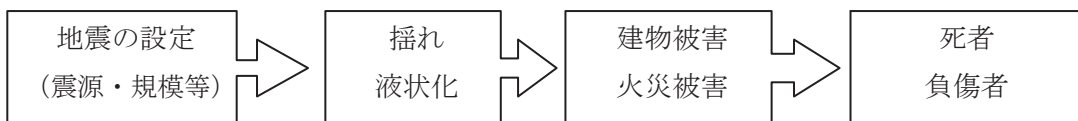


#### 2 各想定項目の被害の推計の流れ

地域状況をメッシュごとに調査分類した後、それぞれに想定地震の揺れを加え、地盤の揺れやそれに伴う液状化を推計する。

次に、揺れによる被害と液状化による被害に分けて、建物被害、火災被害を推計する。

さらに、建物被害、火災被害等から町村別に死傷者数等を推計する。



ライフライン・長周期地震動・その他複合災害等の項目については、定性的な被害様相を記述するものとする。

### 3 被害想定項目とアウトプット

種別	番号	被害想定項目		アウトプット
建物被害	1.1	揺れ	全壊・半壊棟数	町村別集計表
	1.2	液状化	全壊・半壊棟数	町村別集計表
	1.3	急傾斜地崩壊	全壊・半壊棟数	町村別集計表
	1.4	出火	(炎上出火件数)	(町村別集計表)
	1.5	延焼	(焼失棟数)	(町村別集計表)
	1.6	津波	全壊・半壊棟数	町村別集計表
人的被害	2.2	揺れ	死者数、重傷者数、負傷者数	町村別集計表
	2.3	急傾斜地	死者数、重傷者数、負傷者数	町村別集計表
	2.4	火災	死者数、重傷者数、負傷者数	町村別集計表
	2.5	津波	死者数、重傷者数、負傷者数	町村別集計表
	2.6	ブロック塀・自動販売機等の転倒	死者数、重傷者数、負傷者数	町村別集計表
	2.7	屋外落下物	死者数、重傷者数、負傷者数	町村別集計表
	2.8	屋内収容物	死者数、重傷者数、負傷者数	町村別集計表
	2.9	自力脱出困難者	自力脱出困難者数	町村別集計表
	2.10	津波要救助者	津波による要救助者数	町村別集計表

※ (括弧)内は想定を行ったものの被害ゼロという計算結果となり、実際にはアウトプットを示していないものである。

※ ライフライン・長周期地震動・その他複合災害等の項目については定性的な被害様相を記述するものとする。